

2015年1月27日

各 位

大京グループ「リ・モデル(再生)」分野の新規事業を沖縄で開始 マンションの空室を活用した、大京バケーションレンタル事業 現地滞在時の居室+付帯サービスをワンストップで提供

株式会社大京（本社：東京都渋谷区、社長：山口陽、以下「大京」）は、高齢化や建物の老朽化、空き家の増加などの問題を解決する「リ・モデル事業」を本格展開いたします。まず第一弾として、空き家対応ビジネスである「大京バケーションレンタル事業」を2015年3月より沖縄において開始いたしますので、下記のとおりお知らせいたします。

記

■背景

近年、日本においては、人口減少、少子高齢化、環境への配慮とエネルギー制約、予想される災害などに対する多様な課題を抱えています。住宅においても、空き家が約820万戸という規模に拡大しており（「平成25年住宅統計調査」）、防災や治安、まちづくりの面で問題になりつつあります。

現在、大京グループが受託管理するマンションは52万戸を超え、居住者の高齢化や建物の老朽化、空室の増加など、お客さまが抱えていらっしゃるお困りごとは多岐にわたります。そのため、お客さまとの真摯な対話を通じて、これまで以上にグループ連携を深化・拡大させた商品・サービスをご提案することが我々の使命となっています。当グループでは「リ・モデル（再生）事業」として、お客さまのお困りごとを解決するだけでなく、地域社会の活性化につながる新しいビジネスを検討してまいりましたが、その第一弾として、空室マンションの賃貸活用にとどまらず、利用者が滞在する際の付帯サービスまでワンストップで提供する「大京バケーションレンタル事業」を開始します。

■事業概要

大京バケーションレンタル事業は、当グループが受託管理しているマンションの空室をホテルのような形態で賃貸する事業です。まずは、長期滞在型の定期賃貸借契約に基づく事業を3月から開始いたします。



➤ コンセプト

「窓の灯を永遠に」をコンセプトに、オーナーの想いと一体となり、「ライオンズマンション」などグループが受託管理するマンションのブランド価値（資産価値）の最大化に向けた、新しい住文化を創造していきます。

➤ 特長

当社は、現在の空室状況を解決したいお客さま、またセカンドハウス利用の未使用期間が空室状況にあるお客さまとのサブリース契約による一括借上、または資産有効活用に関する運営受託を行い、オーナーの収入安定化を支援します。また、オーナー同様に利用者に対しても、建物の維持管理や緊急対応などグループ各社の既存サービスを提供し、お客さま満足度の向上を図ってまいります。

➤ 今後の展開

沖縄では1966年に事業展開して以来、当グループの認知度が高く、受託管理するマンションは現在約6,000戸となっています。また、沖縄県は国家戦略特区の対象区域であり、国家戦略特別区域法第13条の旅業法適用除外の認定事業が開始されれば、7日から10日以上定期賃貸借契約が可能になり、さらにマンションの空室を利用しやすい仕組みが整うことが予想されることから、観光振興等に注力する地域の地場産業等にも貢献できると考えています。

そのため、将来的にはホテルライクな家具設置やリフォーム工事等に加え、滞在時のリゾート関連サービス等のニーズに対して、当グループのみならず、オリックスグループや地元企業等と連携した新たなサービスを提供し、施設利用の付加価値を高めてまいります。

大京バケーションレンタル事業としては、2020年には売上20億円を目指し、主に三大都市圏において積極展開していく予定です。

大京グループは、不動産開発事業を柱とするフロー事業と不動産管理事業および不動産流通事業を柱とするストック事業の両輪経営のもとで、お客さま満足度の向上とグループ連携の深化による顧客価値経営を進めており、ストック事業のさらなる拡大を図っております。

今後も引き続き、「リ・モデル事業」として、こうした空き家ビジネス以外にも、高齢化対策事業や建物の老朽化対策事業など、地域社会やコミュニティを含めたお客さまのお困りごとを解決するための新しいビジネスを展開してまいります。

以 上

このニュースリリースに関するお問い合わせ先
株式会社大京 広報室（森本、斉藤） TEL:03-3475-3802